

日本エネルギー環境教育学会第 14 回全国大会 エクスカージョン①ご案内

スケジュール 8 月 6 日 (火)

15:30 講演会場 (高知工科大学永国寺キャンパス) 出発

16:00 ~ 17:00 海洋コア総合研究センター見学

17:00 センター出発

17:10 高知空港経由 ※希望者は途中下車可能

17:40 はりまや橋

17:50 高知駅

費用 (貸切バス代) 1,000 円 (予定、減額の可能性はありますが、増額はしません)

※事前申込が必要 (バス定員 40 人の調整とセンターへ名簿提出 7 月中旬のため)

※見学時の様子を写真撮影し広報用としてセンターHP 等への掲載する可能性に同意しています

高知大学海洋コア総合研究センター

センターホームページ <http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/index.html> より転載



海洋コアの総合的な解析を通して、地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として、2000 年 (平成 12 年) 4 月に学内共同教育研究施設として設立されました (旧名称: 海洋コア研究センター)。2003 年 (平成 15 年) 4 月には、全国共同利用研究施設に改組・拡充が行われ、これに伴い高知大学物部キャンパス内に新たな研究施設が建設されました。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管を始めとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを、一貫して行うことが可能な研究設備を備

える国内唯一の研究機関です。2004 年からは、全国共同利用研究が本格的にスタートし、年間 40 件程度の研究課題が採択され、本センターの卓越した研究環境を生かした共同研究が行われています。また、本センターの施設・設備は、海洋研究開発機構との共同運用体制を取っています。さらに、2006 年からは、本センター施設に「高知コアセンター (Kochi Core Center または Kochi Core Center (KU/JAMSTEC))」という愛称を付け、教育・研究活動を展開しています。

海洋コアとは?

海洋観測船や深海掘削船 (「ちきゅう」など) による研究航海の際に採取あるいは掘削された連続柱状試料 (コア) は、全地球規模における過去の地球環境変動 (例えば、海水面変動、地磁気の変化、海流系の変動、水温変化など) を記録しているレコーダーです。過去から現在にいたる地球環境変動を詳細に解析するためには、海底に降り積もった堆積物を乱すことなく採取することが重要です。

8 月 5 日午後の第 15 回総会では、徳山英一センター長による特別講演「深海底資源にめぐまれた日本—メタンハイドレートの資源探索—」を予定しています。